

2 0 2 1

11

公益社団法人

日本てんかん協会

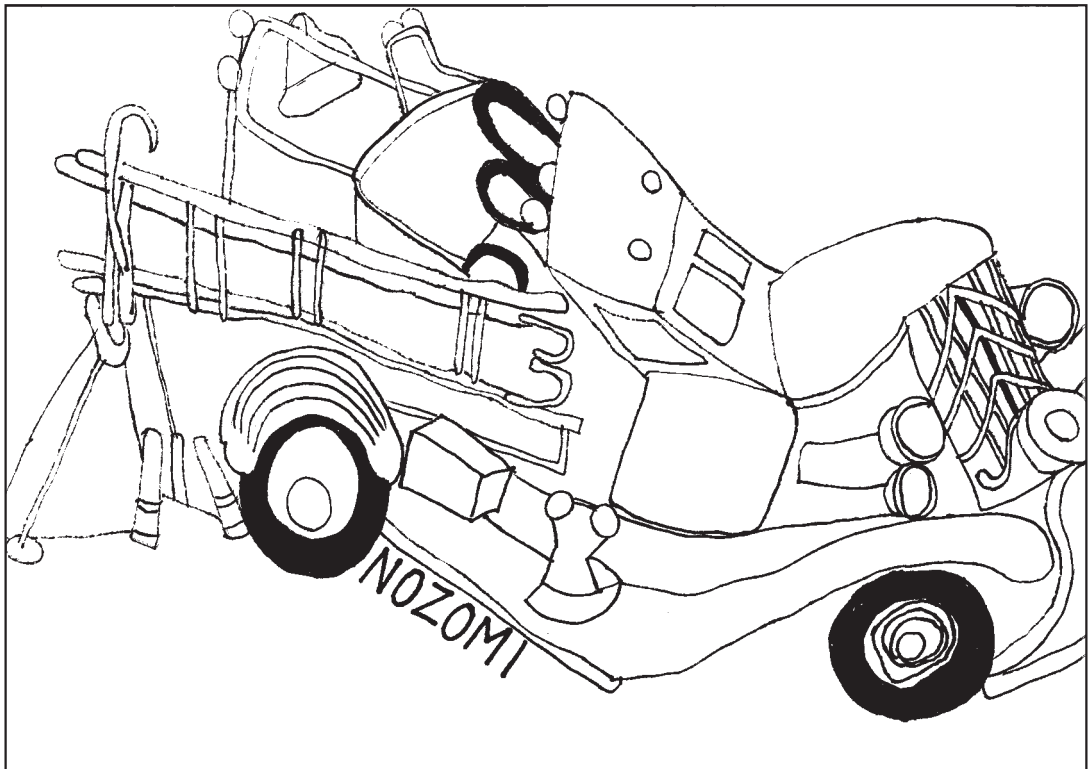
東京都支部

とも しび

特集

わかりにくい

子どものてんかん



表紙 平林 望

目 次



■特 集		
わかりにくい子どものてんかん	住友 典子	3
■成人期てんかんの諸問題188	大沼 悌一	9
■ピョンちゃん日記84	斉藤みほこ	10
■てんかんふれあいフェスタ2021のお知らせ		12
■東京都障害者福祉会館相談員のご紹介		13
■書籍案内		14
■グループ交流会開催予定		15
■講座のお知らせ		16

東京都障害者福祉会館 相談（電話）のご案内

※新型コロナウイルス対策のため、面接はお受けしていません

【電話】第1～第4金曜日 午後1時30分～4時30分

電話番号：03（3455）6321 予約制

特 集

わかりにくい 子どものてんかん

国立精神・神経医療研究センター病院 小児神経科
住友 典子

わかりにくいてんかんの症状

てんかんの中には、ガクガクと体を震わせるような「けいれん」ではない症状の場合があります。てんかんかもしれないと疑うことができると脳波などの検査に進み、てんかんの診断、さらにはより早い治療につながるため、こういった症状がてんかんの可能性があるのかを知っておくことは大事なことです。

◆びくっとする

生まれたばかりの赤ちゃんは少しの刺激で手足がびくっとするモロー反射とよばれる反応があります。その動きとよく似たものの中にスパズム発作というのがあります。何も刺激がなくても手足をびくっとして、1分以内に同じ動きを繰り返すことが数分間続くような動きです。気になる動きが観察されたときには、小児科医に相談することをおすすめします。

脳波を確認し、ヒプスアリスミアという

・ぼーっとして、反応が鈍くなる	⇒欠神発作、非定型欠神発作、焦点意識減損発作（動作停止発作）
・身体、手足がピクンとする	⇒ミオクローニー発作、てんかん性スパズム
・急に笑う	⇒視床下部過誤腫、前頭葉内側面による情動発作
・どきどきする	⇒自律神経発作
・急に力が抜ける	⇒脱力発作
・口をぺちゃくちゃ、手などを動かし続ける	⇒自動症発作
・急に走り出す	⇒運動亢進発作
・光が見える、手足がぴりぴりするなど	⇒感覚発作
・胸がむかむかする、気持ち悪い	⇒自律神経発作
・できていたことができなくなる	⇒発作には入らないが、一部のてんかんの症状

表1 わかりにくいてんかんの症状

特徴的な脳波の異常（図1）を認める場合には點頭てんかん（ウエスト症候群）とよばれるてんかんと診断されます。點頭てんかんと診断された場合には早期に治療介入が必要になります。點頭てんかんの発症は2歳未満（多くは1歳未満）の乳幼児です。

びくっとなる動きの中にはスパズムよりももっとすばやいミオクロニー発作とよばれるものがあります。どの年齢でも認めることができますが、年齢が高くなると持っていた物（おはしやお椀、えんぴつなど）を落としてしまうようなエピソードで気づかれることがあります。

◆ぼーっとして、反応が鈍くなる

小児のてんかんの中には、短時間の意識が薄らぐような症状がてんかんの症状であることがあり、欠神発作といわれます。典型的には4～10歳のころに発症し、意識が薄くなって、4～20秒程度動作が止まったようにみえる発作が1日数十～数百回ほどみられる小児欠神てんかんや、もう少し年齢の高い10～17歳ではじまる発作の頻度が小児欠神てんかんよりも少ない若年欠神てんかんなどがあります。

その他にもミオクロニー発作やほかの発作症状を伴うてんかんの中で欠神発作がでてくることもあります。

私たちが日常の中でぼーっとしてしまい、呼びかけに反応が悪くなってしまふことがあると思います。「ぼーっとしている」ことがてんかん発作なのかどうかの判断は難しいことも多く、確認には「脳波」が必要です。会話や食事、物を書いているなど、なにかをしている途中に突然行動が止まるようなときにはてんかん発作を疑うほうがよいと思います。意識が薄くなるといっても、倒れてしまうことはなく、発作が終わると発作の前に行っていた動作をなにごともしなかったように続けることが多いです。動きが少し緩慢になるだけで行動が止まらなかったり、物を飲み込むような動作を繰り返したりすることもあります。

大きな息を吸ったり吐いたりを繰り返す（過呼吸）ことで発作や脳波の異常が引き起こされるため、欠神てんかんを疑った場合には、過呼吸を行い症状や脳波の確認を行います（図2）。

典型的な小児欠神てんかんでは薬が効きやすく、診断、治療をすることで頻回に

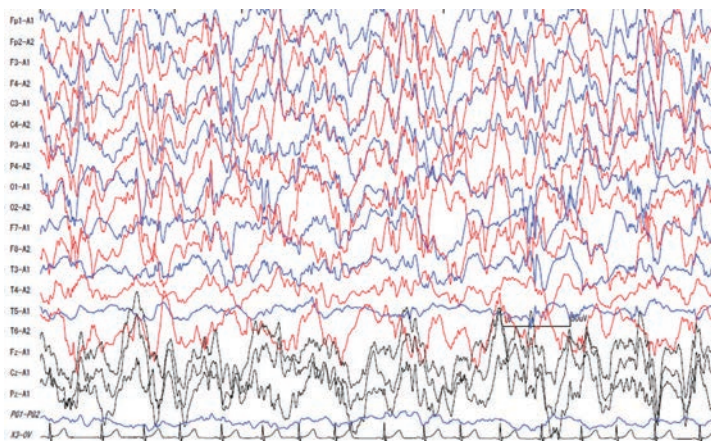


図1 ヒプスアリスミア

←この脳波の特徴は全体的に不規則な大きな波があり、左右前後様々な場所から鋭い波がでていいる脳波で、ヒプスアリスミアとよばれます。



ぼーっとすることでの、日常生活の不具合が解消されていくことが多いです。

欠神発作とは別の発作ですが、ぼーっとしたあとに受け答えが悪いことがしばらく続いたり、ぼーっとしながら口をもぐもぐさせたりするような発作もあります。てんかんの用語では焦点意識減損発作とよばれています。多くの場合、「けいれん」する発作を起こしたことがあるなどてんかんを疑うことは難しくないので、てんかんと診断されている患者さんの発作の回数や発作の形などを伺う場合に、周りにいるご家族からぼーっとしてもぐもぐしたりすることはありますか？ どちらから伺うと「あります」と答えられる方がいらっしゃるの、飲んで抗てんかん薬が効いているのか、もう少し増やした方がいいのかななどの評価につながります。

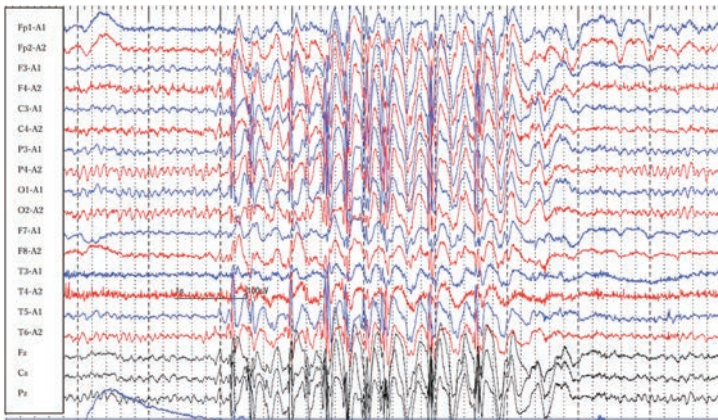
◆気持ちが悪い、吐いてしまう

大きな発作のあとに、気持ちが悪くなったり寝てしまうということとはしばしば起こります。しかし、気持ち悪い、吐いてしまうということ自体がてんかんの発作であることがあります。

小児期にみられるてんかんの中で年齢とともに治まっていくてんかん症候群がありますが、その中で比較的頻度の多いてんかんにパナイトポラス症候群というのがあります。寝ている時に唐突に嘔吐、嘔気は始まり、しばしば発作が重積する症例があります。けいれんがないと、嘔吐を繰り返すことから、周期性嘔吐症や片頭痛といったてんかんではない病気と間違われてしまうことがあります。

この時には脳波が診断に役に立ち、幼児期には頭の後ろの方に異常な波がでることが多く、年齢があがるとともに異常な波の位置が前の方に移動していくという特徴があります。パナイトポラス症候群と診断される方のうち半数以上の方が発作は5回以内で軽快していくため、必ずしも抗てんかん薬を必要としない場合もあります。

気持ちが悪いなど、おなかの中を何かが上がってくるような感じがするといった消化器の症状を自律神経発作と言ったりします。自律神経とは体の働きを調整する神経のことでリラックスした状態だと脈がゆっくりとしているのに対し、興奮していると脈が速くなったり、顔が赤くなったりする



←この脳波の特徴は突然鋭い波（棘波）と大きくゆっくりとした波（徐波）が連続して全体に出現しています。



図2 欠神発作

のを調整している神経のことです。てんかん発作としての自律神経発作の中には、脈が速くなる、遅くなる、呼吸が荒くなる、前述の消化器の症状、顔色が蒼くなるなどの症状があります。

◆異常な感覚

頻度は低くなりますが、ピリピリするような感じがする、光のようなものが見える、など感覚の発作もてんかんにはあります。

◆発作的に笑う

可笑しいという感情を伴った発作と、面白いわけではないが笑い声をだして笑うような発作があります。笑うような場面ではないのに笑うことがあるというエピソードが繰り返されるような時に疑われます。

◆急に走り出す、歩き回る

発作の中には急に起き上がって走り出そうとしたり、ぐるぐると回転するなど歩き回るなどの症状がでることがあります。そういったてんかん発作の場合には話しかけても会話がかみ合わなかったり、反応がなかったりします。



◆音や刺激で引き起こされるけいれん

発作の症状としては、体に力がいってぴくぴくしたりするいわゆるけいれん発作、ぼーっとしたりする、ぴくんとしたりするなど今までにでてきた症状で、これが決まった模様、光、音楽、食事、触るなどで引き起こされることがあります。びっくりした反応なのかな？ などてんかんと結びつけられないことが多いのですが、てんかん発作であることもあるのです。

残念ながら、誘因をとりのぞくことが難しかったり、抗てんかん薬も効きにくいことが多いです。

◆できていたことができなくなる、行動が少しおかしい

これは正確にはてんかんの発作ではないのですが、できたことができなくなる（知的退行）、行動異常が目立つようになるといった中に、睡眠中の脳波だけ異常になる病気があります。しっかりしたけいれんが目立つわけではないことと、眠っている時の脳波をみないと診断ができないため、見過ごされてしまうことがあります。

特別なタイプに耳の聞こえも悪くなる疾患もあるのですが、耳の検査をしても一向に異常がでないのです。これらの病気も治療を行わないと、できていたことができなくなる、知的な面での遅れが目立つようになるため、見逃さないようにすることが大切です。

行動がおかしい間にずっと脳波異常が出ている「非けいれん性てんかん重積」という状態に遭遇することもあります。

けいれん発作が目立たないてんかんの種

類について述べてきました。しかし、これもてんかんの症状かしら?? とすべてを不安に思う必要はありません。てんかんをもつ患者さんがこの症状のどれもが出るわけではありません。たいていは同じ症状やエピソードが繰り返されます。実際は診察や脳波をしてみないとわからないことも多いです。

気になる症状がある場合には小児科医に一度相談してみましょう。相談の際には実際に気になる症状を動画にとっておいてみせることをおすすめします。

てんかんと間違われる症状

次にてんかんと間違えられる症状を少しお示しします。

◆睡眠時ミオクローヌス

スパズムやミオクローニー発作と似ているのですが、乳児期には入眠後しばらく手足がぴくつく睡眠時ミオクローヌスという現象がみられます。スパズム発作は基本的には入眠中よりも覚醒しているあいだにみられるので、入眠時のみのぴくつきは生理的な睡眠時ミオクローヌスと考えてよいでしょう。ただし、時間が長い場合など心配な場合には脳波で確認してみるのもおすすめします。

◆ミルクの逆流

哺乳をしている赤ちゃんの場合ミルクを飲んだ後に苦しそうに首をのけぞったりして、けいれん発作ではないかと疑われることがあります。脳波で異常がなく、ミルク後に胃から食道への逆流が確認される場合

には、逆流による症状と診断され、治療はミルクの量を調節したり、胃の動きをよくするような薬をつかって様子をみます。

◆マスターベーション

乳幼児が足を交差させて、息を荒くしている様子をてんかん発作ではないかと心配され、動画で相談されることがあります。これは、乳幼児期特有のマスターベーションの方法で、基本的には見守っていれば大丈夫です。

◆失神

意識を失って倒れるのを何度か繰り返しているといった中には、てんかん以外に循環が悪くなることでおきる失神や頭をそりすぎることが誘因となって倒れてしまうことがあります。倒れた症状をみた場合には、倒れる場面がいつもきまっていないか（トイレ、朝礼などしばらくたっていた時、起き上がってすぐなど）や、脈などを確認するのも重要です。



◆夢遊病

小児特有の症状ですが、寝ているときに突然起き上がって、歩きまわることがあります。

◆ナルコレプシー

ナルコレプシーは十分な睡眠をとっていても、眠い、急な眠気に襲われ寝てしまうという病気です。ナルコレプシーの昼間の症状に力が入らなくなるという症状があり、てんかんと間違われることがあります。

◆片頭痛

片頭痛の症状では、頭痛の前に目がちかちかしてキザキザした光が見えたりすることがあったり、頭痛の前に気持ちが悪いなどてんかんでもみられる症状が出現することがあります。そのため片頭痛とてんかんの診断が難しいことがあります。片頭痛ではけいれんは認めません。ただし、片頭痛とてんかんの両方をもっている人もいますので、注意が必要です。

◆心因性非てんかん発作

あたかも発作のようにみえるものの脳からの病的な脳波のせいでは起きていないわけではなくけいれんであったり、他のてんかんの症状によく似た症状のことです。真のてんかんをもっている患者さんで認めることも多く、てんかん発作なのか心因性非てんかん発作なのかの判断が難しいことも多いです。

何時間も発作をしているとか、発作症状が途中で止まったり、再開したり、発作中に閉眼していたりする場合には、てんかん発作より心因性非てんかん発作が疑われる

サインにはなりません。

自分でけいれんにみえるような動きをしている場合もありますが、本人の意思で動かしているわけではなく身体症状としてけいれんしてしまうことがあります。いずれにしてもてんかん発作ではなくとも、困っていることがあるのは事実なので、困っていることに対する対応法などを考えていく必要があります、心理的なアプローチが有効なこともあります。

わかりにくい症状の場合は脳波、特に症状が出ている最中の脳波を確認しないと、私たちでも発作なのか発作ではないのかわからないことがしばしばあります。てんかんではないとわかっててもてんかんと間違われる症状で述べたようにほかの疾患が隠れていることがあるので、気になる症状が続くときには小児科医に積極的に相談してみることをおすすめします。

【参考】

てんかん専門医ガイドブック 改訂第2版
日本てんかん学会〔編集〕



成人期(てんかん)の諸問題

むさしの国分寺クリニック 大沼 悌一

新型コロナ変異株と今後の課題

～追加ワクチン接種

(ワクチンブースター)は必要か～

コロナ感染はようやく徐々に収まりつつある。喜ばしいことである。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の最大ピーク、第5波も収まりつつあり、緊急事態宣言、まん延防止対策もつい先日解除となった。

しかし過去の成績をまとめると本邦では患者数計170万人、死者1万7千人に達したという(2021.10.30NHKまとめ)。また世界では2億3462万人が罹患し、死者は479万人となったという(ジョンズ・ホプキンス大学、2021.10)。それでもようやく減少に傾きつつある。これもコロナワクチンが広くいき渡ったためだろう。

インフルエンザウイルスは王冠に似ているのでコロナと呼ばれているが、常に分裂を繰り返して数を増やしている。その途中で王冠の一部が偶然に新しい形に変化して新株ができる。すべての生物もこのようにして形を変えて進化していく。環境に適した強い新株は生き残るがほとんどの新株は環境に適合できず死んでいく。これが進化であり、人間もまたこのようにして進化してきた。

コロナウイルスも初めころは単なるインフルエンザウイルスで、風邪を引き起こすに過ぎなかったが、ある日突然変異が起こり、生き残った新株ができ、猛威を振るうようになった。最初に現れた新株は2002年のSARS(サーズ、重症急性呼吸器症候群)であった。コウモリを媒介して人に感染する病気で、中国江東省から始まったが世界的に流行はしなかった。次に2012年のMERS(マーズ、中

東呼吸器症候群)でアラビア半島と韓国、イギリスなどで発生した。そして2019年12月に今の新型コロナウイルス(SARS-COV2)による新型コロナウイルス感染症である。中国から発症して瞬く間に全世界に広まった。そしてここ2年で新型株はさらに数を増やし、4種類まで増えた。アルファ株、ベータ株、ガンマ株、デルタ株である。勢いの強い株が生き残り日本では今デルタ株である。

コロナワクチンの有効性は証明されている。ワクチンはファイザー製、モデルナ製、アストラゼネカ製があるが、いずれの薬剤でも有効率は70～95%であったという。しかしその有効率は時間とともに減少する傾向にあって、したがって第3回目の追加ワクチン接種(ブースター接種)が必要であるかどうかは今議論になっている。第3回ワクチンが必要であろう(2021.9.17厚労省にて承認)。

新型コロナ感染者の後遺症も明らかとなってきた。罹患者の多くが外傷後ストレス症候群に似た神経・精神的後遺症に苦しむことになった。最近の報告では、頭痛、疲れ、めまい、嗅覚障害、味覚障害、食欲不振、筋肉痛などが頻回にみられ、慢性疲労、体の痛み、うつ症状、睡眠障害、さらには認知症も見られるようになった。自殺も増えたという報告がある。

このようにして人間とウイルスとの命を懸けた戦いは、今後も続きそうだ。しかし人間は英知というものがあり、知恵を絞って乗り越えていこう。

最後に、コロナ騒ぎで国の予算は破産寸前、消費税など上がるのだろうか。コロナがようやく落ち着いた現在、税金を上げずに経済発展を遂げてほしい。

ピョンちゃん 日記

84



大切なこと 斉藤みほこ

●医療的ケア児支援法

2021年6月11日に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が国会で可決された。9月11日からの法律施行により、各自治体による医療的ケア児への支援が「努力義務」から「責務」になる。

6月11日、私も国会議事堂に居たが、私たち自身の生活にかかわる法律が可決される瞬間を目にするのは感慨深いものがあった。思わず拍手をしたら警備員に注意をされてしまい焦りつつ恐縮しきり。

この法律ができた背景には、医療技術の進歩により医療的ケア児が増加していることや、どこに住んでいても同様に適切な支援を受けられるようにするという目的がある。また、「医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに、その家族の離職防止に資し」「安心して子供を生み育てることができ社会的実現に寄与する」ことも目的に掲げられており、大変画期的なのだ。最も

弱い立場（弱いという表現は使いたくはないが、多くの医療的ケア児の家族の離職防止に触れたことで、他の障がい児、及び一般のお子さんを育てている親に関しても同じように「離職防止」は波及していくに違いないし、なにより、安心して子供を生み育てることは社会全体に共通

した課題でもある。医療的ケア児に特化してはいるが、子育て法としてはとてもよくできていると個人的には思っている。

●法律施行後

この法律が施行されると、国や地方公共団体では支援が責務になるが、まずは支援センターの設置が措置として考えられている。ピョンちゃんと私の生活の中では、万が一私に何かあった場合は児童相談所が対応することになっているが、児童相談所の業務は過多であり、果たして人工呼吸器装着の特殊な子ども、しかも緊急度の高い子に対してすぐに動けるのか大いに疑問であった。だから専門的なセンターができるのは安心。

また、保育所や学校でも医療的ケアについての支援がさらに進むことになり、日本のどこに住んでいても、どんなに重い障がいがあっても、それこそ安心して育てることができるようになる、そんな未来予想図

が描けるのは嬉しい。

ただし、法律は理念であり、これを生かすか形骸化するのかは当事者の働きかけだと思っている。私自身が制度を利用し、かつ支援する事業者側*である立場で最近思うのは、どんなに熱心に考えられた制度でも、使う側が理解し、変えていかないと生きてこないということだ。だからこそ、当事者家族が地域ごとに結びつき、共に考え、全国でつながることが必要ではないか。

* 著者は「NPO 法人なかのドリーム」理事

●活動の中で

現在、私は事業を青色吐息で継続しているが、これは私の仕事でもある。ピョンちゃんを育てながら正社員で仕事ができることは「奇跡」に近く、周囲の支援や制度のおかげなので、お返しをしていかないといけないと思っている。お返しというと大げさだが、目的は自分たちの生活をよりよくしていきたい、ということだ。

だから親の会にもいくつか参加し、そこで社会的な働きかけもしている。社会的な活動ができることも、そういう機会をたまたま与えられたのもありがたい。できる環境と機会、そして仲間がそろわなければ、やりたくてもできないからだ。

それと、自分自身のこれからの人生についても考えるようになった。支援に入ってくださいるヘルパーさんや看護師さんらは、私を助けるためではなく、ピョンちゃんを生命生活を支えるために来ているのだし、ピョンちゃんと信頼関係をつくることにな

により重要である。子どもの支援はともすれば家族の支援に目が生きがちだが、本来あるべき「本人主体」の観点を忘れてはいけない。

ピョンちゃんは私から離れ、私もピョンちゃんもそれぞれ社会的に「自立」していくのが今の目標だ。先輩ママさんから私たち親子の自立に対して「進化していると感じた」といわれたことがあった。面白い表現だが、常に、共に、私たちは進化していくのだ、そう思うと、どう変異していくのかも楽しみである。

●大切なこと

活動をし、仕事をし、自立したい、自分の人生も大事にしたい。そう綴ってはきたが、私の根っこでは何を一番大切にしたいのだろうか。

先日、医療的ケア児の調査ワークに参加し、とりまく環境や親の思いを47枚のカードを並べて可視化することをした。すると、一番大事に考えていたのはピョンちゃんの「健康状態が安定していること」。次はピョンちゃんが「日々楽しく過ごして笑顔でいること」だった。そうなのだ。34回入退院を繰り返してきた私たちにとっては、体調の安定あってこそ今の生活や活動であり、ピョンちゃんが笑顔で楽しく過ごしているからこそ、私も自分の時間がもてる。

こんなに母は娘を大事に思っているのに、最近はおやつを用意するとき以外は笑顔を見せてくれない娘さんなのだ！と、これは親の愚痴である。



てんかんふれあいフェスタ2021

- 日時：2021年12月2, 3, 6日
午前11時～午後1時頃

- 場所：福祉財団ビル1階 三角広場
(豊島区南大塚 3-43-11)
※雨天時、中止になる場合あり

- ・ JR 山手線「大塚」駅 南口下車 徒歩 4分
- ・ 都電荒川線「大塚駅前」駅下車 徒歩 4分
- ・ 丸の内線「新大塚」駅 1番出口下車 徒歩 5分

署名活動も行います！

■日本てんかん協会の会員の方へ



東京都支部のさまざまな事業の活動資金捻出のため、会員の相互交流を深め、地域に根付くため、てんかんふれあいフェスタを開催します。
皆さまからのたくさんの寄付品のご協力とご参加をお待ちしています！

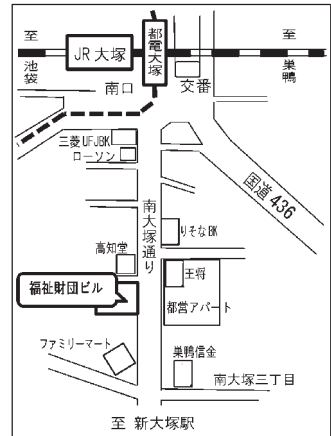
バザー用品大募集

未使用品（食品、雑貨、商品券、おもちゃ、クオカード、書籍、絵本など）を募集しています。

※11月19日（金）頃までに都支部事務局にお送りください。

「バザー協力券」の購入・「寄付」のお願い

- バザー協力券 1枚・・・1,000円（はずれなし）
 - ・ フェスタ当日に協力券の抽選会を開催します。
 - ・ 賞品 1等…5,000円、2等…3,000円、3等…2,000円相当
もれなく参加賞があります。
 - ・ 後日「ともしび」で当選番号発表。賞品は郵送します。
- 寄 付 【バザー協力券・寄付の振込先】
郵便振替口座番号 00120-5-126926
加入者名 波の会 東京都支部
※通信欄に「寄付」または「バザー協力券」と明記してください。
※11月19日（金）までお願いいたします。



東京都障害者福祉会館 ピア相談（ピア＝仲間） 相談員のご紹介

東京都から委託され、（公社）日本てんかん協会東京都支部が相談員を派遣し、電話のてんかん相談をおこなっています。

てんかん患者と親の立場の方（東京都支部会員）が、ピア（仲間同士）による相談をお受けしています。現在患者（女性）1名と、母親3名が相談員を務めております。

相談員は傾聴に努め、気持ちを汲み取りながらお話を伺います。

相談の申し込み、電話番号等は P. 2 をご覧ください。

◆第1金曜日 立場：母親

息子が患者。障害者雇用で民間会社に就労。社会と繋がる暮らしを中心にお話を伺います。

◆第2金曜日 立場：母親

息子が患者。精神症状あり。悩みや困りをお聴きして、具体的な解決に向けて話し合しましょう。

◆第3金曜日 立場：母親

息子が患者。就労継続支援 B 型に就労。軽度知的障害、高次脳機能障害あり。

てんかんについての悩みや不安を、どうぞ気軽にお話してください。

◆第4金曜日 立場：患者本人

10代後半に発症。現在発作をもちながら生活。娘が一人。自身の経験を基にお話をお伺いします。

*相談員は担当日が変わる場合があります。



ほかの人は
どうしているの
かしら…



一緒に
考えましょう!

てんかん 大沼 悌一 著

成人期諸問題

(むさしの国分寺クリニック理事長・名誉院長)

日本てんかん協会東京都支部 編

2750 円 (税込)

50 年以上にわたり、
てんかんに関わってきた専
門医が、大人のてんかん患
者が抱えるさまざまな諸問
題を解説。

- 1 部 成人期てんかんのさまざまな問題
- 2 部 てんかんと発作
- 3 部 検査と薬
- 4 部 発作の裏にある脳の病気

推薦
日本てんかん学会
理事長
大澤真木子

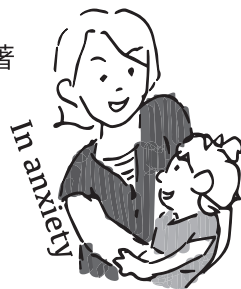
不安ウーマン

新刊!

医療的ケア児のシングルマザー 福満美穂子 著
明日を生きていくために

1760 円 (税込)

- 1 部 普通ってなんだろう 妻、母、シングルマザーへ
- 2 部 ゆらぎなら迷いながら 母と私、私と娘
- 3 部 私が私でいるために 不安や恐れを力に変えて



重症児ガール

福満美穂子 著

1650 円 (税込)

ママとピオンちゃんの きのう きょうあした

- 1 部 ピオンちゃんとの暮らし
はじまり／わが家の日常／外のせかいへ／受け入れる
- 2 部 ピオンちゃんのいろいろ
からだのこと／おでかけのこと／嵐のこと／通じあうこと
- 終章 しなやかにいこう!



グループ交流会開催予定

詳しくは都支部にお問い合わせください
03-6914-0152、epitokyo@yahoo.co.jp

◆リモート開催（Zoom ミーティング）

- ◇高円寺交流会（本人の会）
- ◇麦の会（小・中・高の親の会）

参加希望の方は事務局までお問い合わせください。

◆中止

- ◇てんかんを考える会（本人の会）
- ◇下町交流会（本人の会）
- ◇さらだぼうる（女性限定・主に本人）
- ◇ラポール（本人と親の会）
- ◇たまごボーロ（小さな子の親の会）

●事務局の開局時間と閉局日●

- ・開局時間：平日 10 時～ 16 時
第 4 日曜（てんかん講座）は開局しています
- ・閉局日：毎週水曜日
（開局している場合もあります）

11月28日てんかん講座

第1部講演（午後1：30～4：00） てんかんの薬物療法

てんかんの治療においては「抗てんかん薬」による薬物療法が中心となります。抗てんかん薬は種類が多く、その調整が難しいと言われています。抗てんかん薬の薬物療法や新薬、副作用について学びます。

講 師 落合 卓 先生（おちあい脳クリニック）

東京女子医科大学脳神経外科を経て、2009年おちあい脳クリニック開設。東邦大学医学部脳神経外科講師。日本脳神経外科専門医、てんかん専門医・指導医、迷走神経刺激術資格認定、日本定位・機能神経外科学会理事、浦和医師会理事、てんかん学会評議員。

Zoom ミーティングによる講座開催となります。質疑応答を行います。その他、開催の詳細につきましては、HPをご覧くださいか事務局までお問い合わせください。

日 時 11月28日（日）午後1時30分～4時

受講料（お一人） 一 般：3,500円（税込）
協会会員：1,500円（税込）



申 込 事前にてんかん協会東京都支部HP、
または右記 QR コードよりお申込みください。

なお、入金方法などの詳細に関しましては、お申込みいただいたメールにてご連絡いたします。

2021

11



©

東京都豊島区南大塚3-43-11
福祉財団ビル7F
〒170-0005 TEL.03(6914)0152
FAX.03(6914)0153

発行所

2021年11月1日発行
ともしび通巻453号
毎月1回1日発行

公益社団法人

日本てんかん協会
東京都支部

（別名/波の会東京都支部）

発行人 川上 純 一
編集人 中村 千穂
印刷所 大手町企画
定価 250円（送料共）

・東京都支部のホームページアドレス <http://tokyo-tomoshibi.jimdo.com/>



本誌に掲載された著作物の無断複写及び他誌への転載は固くお断りいたします。